

## 2 歳 児

### <子どもの保育目標>

甘えや、自己主張などを大人に受け止めてもらう中で、象徴機能が発達し徐々に友達と関わる。





### <養護> 生命の保持

ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 一人一人の子どもが、快適に生活できるようにする。</li> <li>② 一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。</li> <li>③ 一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。</li> <li>④ 一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。</li> </ul>
保 育 士 が 行 う 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <ul style="list-style-type: none"> <li>・登園時の健康観察や子どもの様子の把握を日々必ず行い、家庭での食事や睡眠などについて保護者から情報を得る。</li> <li>・常に体の状態・機嫌・食欲などの観察を十分に行い、変化が見られた時は適切に対応する。</li> <li>・不適切な養護の早期発見・児童虐待への対応など、子どもの人権を守る視点からも日々の心身の健康状態の確認や継続的な把握、記録を行う。</li> </ul> </li> <li>② <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士は子どもの疾病についての理解を深める。</li> <li>・子どもの周囲の環境を点検し、衛生的な環境への細心の注意を払う。</li> <li>・子どもの発達の過程や特性を踏まえ、一人一人の子どもの行動を予想し、起こりやすい事故を想定しつつ環境に留意して事故防止に努める。</li> <li>・子どもの活動を保障し、子どもにとって安心安全な環境維持及び向上を図る。</li> </ul> </li> <li>③ <ul style="list-style-type: none"> <li>・明るさ・温度・湿度・音などについて常に配慮する。</li> <li>・保育士は応答的に関わりながら、食欲や睡眠などの生理的欲求を満たしていく。</li> <li>・送迎時の保護者との会話や連絡帳、懇談会などを通し、積極的に家庭との情報交換を行い、子どもの一日の生活全体を考慮して、食事・睡眠・休息・遊びなどが無理なく営まれるようにする。</li> </ul> </li> <li>④ <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達を見通し、全身を使う運動を適度に取り入れ、それぞれの状態に応じた活動を十分に行う。</li> <li>・生活リズムに合わせ適度な休息をとることができるようにする。</li> <li>・静と動のバランスを配慮して、保育の内容に柔軟に取り入れる。</li> <li>・友達と一緒に食事をし、様々な食べ物を食べる楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・基本的な生活習慣の習得については、急がせることなく、一人一人の子どもの様子をよく見て適切な時期に適切な援助をしていく。</li> </ul> </li> </ul>

## <養護> 情緒の安定

ね ら い	<p>① 一人一人の子どもが、安定感をもって過ごせるようにする。</p> <p>② 一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。</p> <p>③ 一人一人の子どもが、周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。</p> <p>④ 一人一人の子どもがくつろいで共に過ごし、心身の疲れが癒されるようにする。</p>
保 育 士 が 行 う 事 項	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の子どもの心身の状態や発達過程を的確に把握し、それぞれの子どもの欲求を受け止め子どもの気持ちに寄り添う。</li> <li>・優しいまなざしや態度で関わる。</li> <li>・温かなやり取りやスキンシップを心がける。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の子どもの気持ちを汲み、適切に応答する。</li> <li>・子どもと向き合う中で、自らの思いや願いを子どもに返していく。</li> <li>・生活の中で互いに認め信頼し合う関わりを通して、生涯にわたる人との関わりの中盤となる基本的な信頼感を培う。</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの自発性や探索意欲が高まるような環境を計画的に構成し、保育士は見守り共感しながら励ましたり必要な助言を行ったりする。</li> <li>・人と物との出会いの中で芽生える様々な感情や考え、多様な体験の過程を保育士が見守り受け止めることによって、子どもの自己肯定感を育む。</li> </ul> <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの生活全体を見通し、家庭と協力しながら心身の状態に応じて適切に援助していく。</li> <li>・静かで心地よい環境の下で、子どもが心身の疲れを癒すことができるようにする。</li> <li>・子どもの家庭での就寝時間に配慮して、午睡の時間帯を工夫し柔軟に対応する。</li> </ul>

## 2歳児 <教育> 健康

<ねらい> ・ 排泄が確立する。 ・ 運動、指先の機能が発達する。	
内 容	保育士が配慮すべきこと
○ 楽しんで食事をする。	<p><b>【楽しく、おいしく食べる】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士や友達と一緒に、会話をしながら楽しく食事ができるようにする。</li> <li>・ 苦手なものを食べられた時には、誉めたり「おいしいね」などの言葉をかけたりして、食べる意欲を育てる。</li> <li>・ 食べ物と体の関係を伝え、食べ物への興味や関心がもてるようにしていく。</li> <li>・ スプーンやフォークを使い、食器に手を添えて食べることを知らせたり見本を見せたりする。</li> <li>・ 姿勢よく食べられるよう、声をかけて知らせる。体が安定しない時は、背あてや足置きを使用する。</li> </ul> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div>

## <教育> 健康

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 午睡など適切な休息をとる。</p>	<p><b>【体も心も休まる環境の中で】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活リズム、睡眠量、運動量などを考慮し、家庭と連携して一人一人に合った休息がとれるようにしていく。</li> <li>・ 長時間の保育を配慮して室内環境を工夫し、くつろげる場所を用意する。</li> <li>・ 心地よく安心して入眠できるよう、傍についたり体に触れたりする。</li> </ul> <p>※ 睡眠中の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 照明は、睡眠時の乳幼児の顔色が観察できるくらいの明るさを保つ。</li> <li>・ 乳幼児の傍を離れない。機器の使用の有無にかかわらず、必ず職員が傍で見守る。</li> <li>・ 仰向け寝を徹底する。(医師がうつぶせ寝を勧める場合を除く)</li> <li>・ 睡眠時チェックをきめ細やかに行い、記録する。 (姿勢、顔色、呼吸の状態、体温)</li> <li>・ 厚着をさせ過ぎない、暖房を効かせ過ぎない。</li> <li>・ 保護者と緊密なコミュニケーションを取る。</li> </ul> <p>「保育施設における睡眠中の事故防止及び救急対応策の徹底について」 東京都福祉保健局少子社会対策部通知より</p>

## <教育> 健康

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 自分から、または声を掛けられてトイレに行き、排泄する。</p> <p>○ 衣類の着脱を自分でしようとする。</p>	<p><b>【行きたくなるトイレ、安心できる誘いかけ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の状況により、保育士が時間を見て誘いかけたり自分からトイレに行くのを待ったりし、排泄の自立を支える。</li> <li>失敗した時には、「気持ち悪かったね」「取り替えようね」と声をかけ、素早く交換し自尊心を傷つけないように気を付ける。</li> <li>トイレには、必ず保育士が付き、出たかどうかの確認、ペーパーの使い方、水の流し方、手洗いなど丁寧に一緒に行く。</li> <li>トイレでの排泄に慣れてきたら、ズボンやパンツを全部脱がずに排泄する方法を知らせていく。</li> <li>花や植物などを飾るなど、明るい雰囲気トイレになるよう工夫する。</li> </ul> <p><b>【「みててね」「できたね」子どもの意欲と保育士の援助】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの「自分でしよう」という気持ちを受け入れ見守る。</li> <li>甘えを受け入れたり、できないところは、やり方を知らせたりしながら次への意欲に繋げていく。</li> <li>衣類の好みやこだわり、汚れても暑くても着替えたくないなどの子どもの思いには「～したかったのね」とまずは受け止め、気持ちが切り替えられるよう援助する。</li> <li>家庭と連携し、脱ぎ着しやすい服（前後が分かるような服）や靴を用意してもらう。</li> <li>子どもの羞恥心を育てる為に、裸にならないよう順序よく着替えることを知らせる。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">子どもの気持ちを受け止めた援助</div> </div>

## <教育> 健康

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 歩いたり、走ったり全身を使って遊ぶ。</p>	<p><b>【体をいっぱい使って、楽しさいっぱい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが様々な体の動きを獲得するために、走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びを保育士も一緒に楽しむ。</li> <li>・ 全身運動と共に、握る、つまむ、ちぎる、ひねるなど指先を使う遊びを意識して取り入れる。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>
<p>○ 保育士の言葉かけで危険なことを知る。</p> <p>※ 災害時の対応</p>	<p><b>【あっ！あぶない】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉を獲得していくこの時期に、保育士が意識して危険をイメージできる言葉(熱い、痛い、危ないなど)をかけ、理解に繋げていく。</li> <li>・ 職員は慌てずに状況判断をし、職員同士で声をかけ合いながら、子どもの安全確保をすると共に、安心させるような表情や声かけ、スキンシップを心がける。</li> <li>・ 子どもに、ダンゴ虫のポーズや、笛の合図で集まるなど、自分の身を守る方法を知らせていく。</li> </ul>

## 2歳児 <教育> 人間関係

<ねらい>

- ・ 自我が育ち、自己主張するようになる。
- ・ 保育士や友達と一緒に遊ぶ楽しさを知る。

内 容

保育士が配慮すべきこと

- 自我が育ち、自己主張する。

### 【気持ちを受け止められて育つ自我】

- ・ 自己主張やだだこねが激しい時には、ゆとりをもって対応し、子どもが自分で気持ちを切り替えたり立て直したりできるように言葉かけや関わり方を工夫する。
- ・ 自己主張している子どもに対応する時には、必要以上に他の子どもを待たせないように職員間で協力して対応する。その為には、日頃から子どもの状況をよく話し合い、サポート体制についても共有しておく。



## <教育> 人間関係


内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 保育士や友達と一緒に遊ぶ楽しさを知る。</p>	<p><b>【保育士が繋ぐ、楽しい友達との世界】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士が指示や命令をするのではなく、子どもが自分で決められるように、自己主張を十分に受け止めていく。</li> <li>・ 保育士と一緒に、身近な生活の再現遊びやごっこ遊びを友達と繰り返し楽しめるようにする。</li> <li>・ 子ども同士のイメージが共有できるように、保育士が仲立ちとなり一緒に遊ぶ。</li> <li>・ 子ども同士のトラブル時には保育士が仲立ちとなって、それぞれの思いを言葉に変えて相手に伝えていく。また、「こうすればよかったね」など、関り方の方法も丁寧に知らせていく。</li> <li>・ 日々の生活や遊びの中にも、きまりがあることに気付くことができるようにする。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px 20px; display: inline-block;">イメージの世界を繋ぐ</div> </div>




## 2歳児 <教育> 環境

<p>&lt;ねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々なものに関わる中で、興味、好奇心をもち探索や模倣などをして遊ぶ。</li> </ul>	
<p>内 容</p>	<p>保育士が配慮すべきこと</p>
<p>○ 身の回りの生き物、植物、事物に触れ、興味、好奇心をもち、探索や模倣などして遊ぶ。</p>	<p><b>【みーつけた！ これなあに？】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発見(気付き)に寄り添った言葉をかけ、驚きや喜びを共有する。</li> <li>保育室や園庭などで、生き物や四季の植物を取り入れた環境を設定する。</li> <li>戸外遊びや散歩など、自然に触れる機会を多く取り入れ、見る、聞く、触る、嗅ぐ、繰り返し試すなどの経験を楽しめるようにし好奇心を高めていく。 (草、花、虫、木の実、石、砂、水、霜柱(氷)、雪など)</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>○ 自分の物と人の物との区別や場所的感覚などが育つ。</p>	<p><b>【大好き、ごっこ遊び】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ごっこ遊びのイメージが膨らむような遊具や素材を用意し、子どもが取り出しやすいところに置く。</li> <li>少人数で安心して遊びこめる空間作りをする。(コーナーなど)</li> <li>わらべうたや昔話、季節の行事に触れる機会を取り入れる。</li> </ul> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div>

## <教育> 環境

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 身の回りの物に触れる中で、形、色、大きさ、量などの物の性質や仕組みに気付く。</p>	<p><b>【いつもここにあるよ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども一人一人を大切に、安心して過ごせるように子どもが分かりやすいマークを付ける。</li> <li>・ 日常生活に関わる場所について、そこに何があるか、そこで何をするのかを知らせ安心し見通しをもって生活できるようにする。 (トイレ、手洗い場など)</li> </ul> <p><b>【会話や遊びの中で】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手で触って、大きさや重さ、形の違いに気付けるよう様々な遊具や用具、素材などを用意する。</li> <li>・ 子どもが試したり観察したりして、満足できるまで遊び込める時間と空間を保障する。</li> <li>・ 色や形、大きさなどの子どもの発見や気づきに耳を傾け、その思いに寄り添った言葉をかけていく。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>様々な素材に触れ、発見や観察が楽しめる環境</p> </div>

## 2歳児 <教育> 言葉

<ねらい>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活に必要な言葉が分かり、して欲しいことを言葉やしぐさで伝える。</li> </ul>	
内 容	保育士が配慮すべきこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活に必要な簡単な言葉を知る。</li>   <li>○ 思ったことや感じたことを言葉で伝えようとする。</li>   <li>○ 絵本や紙芝居などを、見たり聞いたりくり返しのあ る言葉の模倣を楽しむ。</li>   <li>○ 保育士や友達と一緒に、ご っこ遊びをする中で、簡単 な言葉のやり取りを楽し む。</li> </ul>	<p><b>【おはよう、いただきます】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士が良い手本となるように、子どもや保護者に進んで挨拶をしていく。</li> </ul> <p><b>【かして、ありがとう】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが生活の中で日常使う言葉に気付くように、場面を捉えて丁寧伝える。</li> </ul> <p><b>【伝わる楽しさ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝えたい思い、喜び、悲しみ等を言葉や仕草から感じとって言葉に置き換え、共感したりうなずきやまなざしで応えたりしていく。</li> <li>・ 保育士に自分の思いが伝わって嬉しい気持ちから、また伝えたい、聞いてもらいたいという思いを引き出す。</li> <li>・ 伝えたい思いを受け止め、先取りせずに子どもの言葉をゆっくり待つようにする。</li> <li>・ 友達との関わりの中で、それぞれの思いや気持ちを代弁し言葉で伝えることを知らせる。</li> </ul> <p><b>【言葉やリズムのおもしろさから広がるお話の世界】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉やリズムの面白さ、繰り返しを楽しめる絵本等を選び、「楽しかった」「面白かった」という思いを、友達と共有する楽しさが味わえるようにする。</li> <li>・ 歌、手遊び、わらべうた、触れ合い遊びなどを保育士と一緒に楽しみながら言葉のリズムの楽しさを知らせていく。</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div> <p><b>【保育士が繋ぎ、広がるごっこあそび】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見立て遊びやつもり遊びの中で、子どもの経験に合わせて言葉を引き出しながら、やり取りを楽しめるようにしていく。</li> <li>・ 慣れ親しんだお話を遊びの中で再現し、友達と言葉のやり取りを楽しめるようにする。</li> </ul>

## 2歳児 <教育> 表現

<p>&lt;ねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 象徴機能が発達し、生活や遊びの様々な体験を通して想像力や感性が豊かになる。</li> </ul>	
<p>内 容</p>	<p>保育士が配慮すべきこと</p>
<p>○ 生活や遊びの中で保育士のすることに興味をもったり模倣したりすることを楽しむ。</p> <p>○ 保育士と一緒に歌ったり簡単な手遊びをしたり、リズムに合わせて身体を動かしたりして遊ぶ。</p> <p>○ 保育士と一緒に水・砂・土・紙など様々な素材に触れて楽しむ。</p>	<p><b>【〇〇になったつもり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活や身近なお話の場面を再現したり表現したりする姿を受け止め共感し、ごっこ遊びのイメージが広がるような環境を整え、保育士も一緒に楽しむ。</li> <li>・ 保育士が仲立ちとなって、子ども同士の世界を繋げることでイメージを共有して遊びへと発展していけるようにする。</li> </ul> <p><b>【歌おうね、踊ろうね】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌、手遊び、わらべ歌、ふれあい遊びなどを取り入れて、保育士や友達と表現することの楽しさや心地よさを共有していく。</li> </ul> <div data-bbox="603 996 1018 1209" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1045 952 1420 1243" data-label="Image"> </div> <p><b>【楽しい、面白い】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが土や水に触れ、面白さや不思議さを体で感じられる遊びを意図的に取り入れていく。</li> <li>・ 子どもの気付きや驚きを見逃さず、その子なりの表現を大切にしながら一緒に喜んだり楽しんだりする。</li> </ul> <div data-bbox="619 1556 1013 1870" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1069 1556 1401 1870" data-label="Image"> </div>